

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 労働組合 | 選挙活動 | 選挙活動の論理・構造

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

組織活動

組織運営と法律

労働安全衛生

経営対策活動

教育・宣伝活動

労働時間をめぐる諸問題

教育活動

選挙活動

組合組織（公務員）

教育カリキュラム

[▶ キーワード検索はこちら](#)

選挙活動の論理・構造

選挙活動とは一体どういうものか、それを知らずして参謀は務まらない。選挙制度を見つめる中から、選挙活動を構造的に、論理的に捉え、全体像を掴み、そのポイントを得て、有効に活動を展開しなければならない。

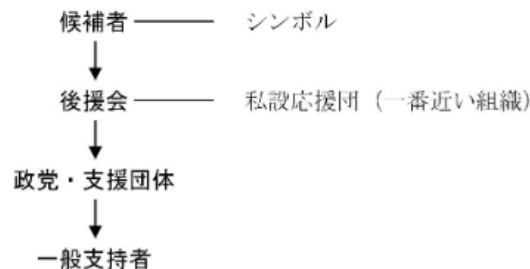
選挙活動の当事者

選挙制度は、権力的地位を争う複数の候補者がいて、それらのいずれかを選択決定する有権者がいて成立する。したがって、選挙活動の当事者は、

1. 味方の候補者陣営
2. 相手の候補者陣営（複数）
3. 有権者（多種多様）

○味方の陣営と選挙組織

聞いには、陣営ないし戦闘組織があります。そこでまず、活動の当事者として候補者の陣営と選挙組織を考えます。



相手陣営も同様の組織を持っています。

しかし選挙組織のあり方は、それぞれの候補者の所属や性格によって異なります。大きく4つに分類できます。

1. 後援会主導型（自民党）
2. 政党主導型（共産党）
3. 支持団体主導型（公明党）
4. 政党・後援会・支持団体混合型（民主党）

○選挙活動の方向と活動の次元

このような当事者がおり、様々な活動が展開されますが、それはやみくもに行われるものではありません。自ずと、活動の方向性、活動の面があります。これを「活動の次元」と呼びます。

一つは、競合する候補者に向けての方向。候補者間で争われるから「闘争の次元」と言います。

もう一つは、有権者に向けての方向。これは有権者との間の理解・同情など、共感が基本となりますから「共感の次元」と呼びます。

活動のあり方は、次元によって、それぞれ異なった性格のものとなり、これを混同してしまうと、有権者に敵意を抱かせることもあります。

個別的な活動の対象関係

○「共感の次元」の活動 —— 基本「有権者の中に、有権者と共に、有権者のために」

1. 候補者から有権者へ（地盤培養行為、社会的行為）
2. 後援会から有権者へ（入会依頼活動、各種イベント）
3. 政党から有権者へ（入党、機関紙・誌拡販活動）
4. 支持団体から有権者へ（内部的支持固め、運動具化）
5. 一般支持者から有権者へ（コミュニケーション（双方向））

○「闘争の次元」の活動

1. 味方陣営の候補者との関係（友好的競争関係）
2. 相手陣営の候補者との関係（敵対的競争関係） → 攻撃目標と競争目標の設定
3. 後援会と相手陣営との関係（味方（会員）をいかに増やすか）
4. 味方の政党と相手陣営との関係（二正面、二段階闘争を基本に）
5. 支持団体相手陣営との関係

活動を構造的に見た場合のポイント

1. 活動の構造はダイナミックに変化する（人の心、社会・産業構造、時代など）、「有利な構造関係を作り出す」
2. 有権者は多くの候補者から不断に攻撃を受けている。「惰眠をむさぼることなかれ」
3. 味方陣営を拡大強化すること。「相手に負けない活動量の発揮は活動家の数を増やすこと、効果的・効率的組織の確立」
4. 勝つための有効な戦略が必要。「闘争の次元・共感の次元、二元的な活動の面を踏まえたそれぞれに応じた戦略を」
5. 異なったレベルの選挙が同時に施行された場合、選挙活動の構造は錯綜する（複雑化）「基本を踏まえて組み合わせを。どう闘うかは、参謀の任務」
6. 相手の活動を無効化・無価値化したりする方法に留意を。「候補者陣営と有権者とのコミュニケーションを遮断する」

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.